

第1回民間取組等と連携した自然環境保全 (OECEM)の在り方に関する検討会 情報提供資料

生息地に関わる事業紹介

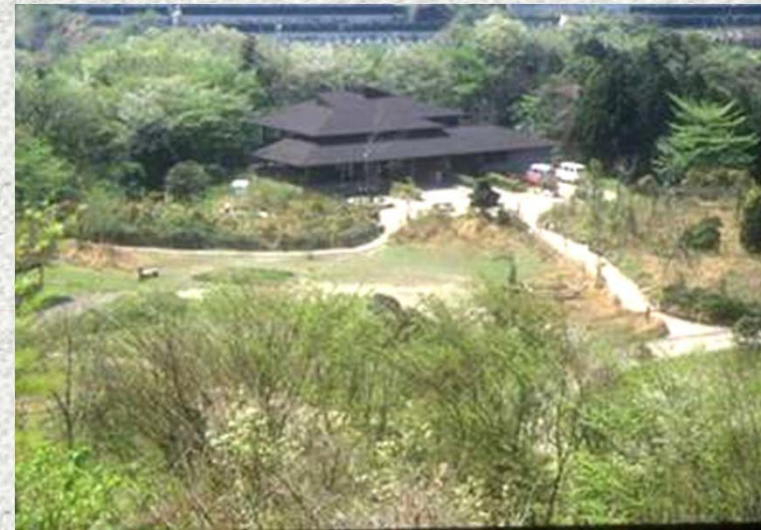
サンクチュアリとは・・・

サンクチュアリ(Sanctuary)の語源 = 寺院、駆け込み寺
野生生物の聖域、保護区

サンクチュアリは、野生生物の生息地を保護する活動である。



ウトナイ湖サンクチュアリ



横浜自然観察の森

サンクチュアリの考え方

1. 野生生物の生息地を確保する。
 - ①土地を購入して、土地の所有権をもつ。
 - ②土地を借りて、土地の管理権をもつ。
 - ③土地所有者と保全協定等を結び、土地の保全を担保する。



ウトナイ湖サンクチュアリ



根室市春国岱原生野鳥公園

ウトナイ湖サンクチュアリ

- 当会第1号のサンクチュアリ
- 環境：湖沼、湿原
- ラムサール湿地（国指定鳥獣保護区）、IBA
- 主な野鳥 マガン、ヒシクイ、オオハクチョウ、オオジシギ、オジロワシ…
- 開設～1999年 千歳川放水路計画反対運動
- 2000年 勇払原野保全プロジェクト
- 2016年 オオジシギ保護調査プロジェクト
- 安平川河道内調整地のラムサール条約登録、苫東厚真風力発電所建設計画に対応
- 環境省 野鳥鳥獣保護センターを併設、苫小牧市より運営委託

※苫小牧市（保全緑地）と協定を締結し、ネイチャーセンターを設置※鳥獣保護区管理員などの形でも管理に参画





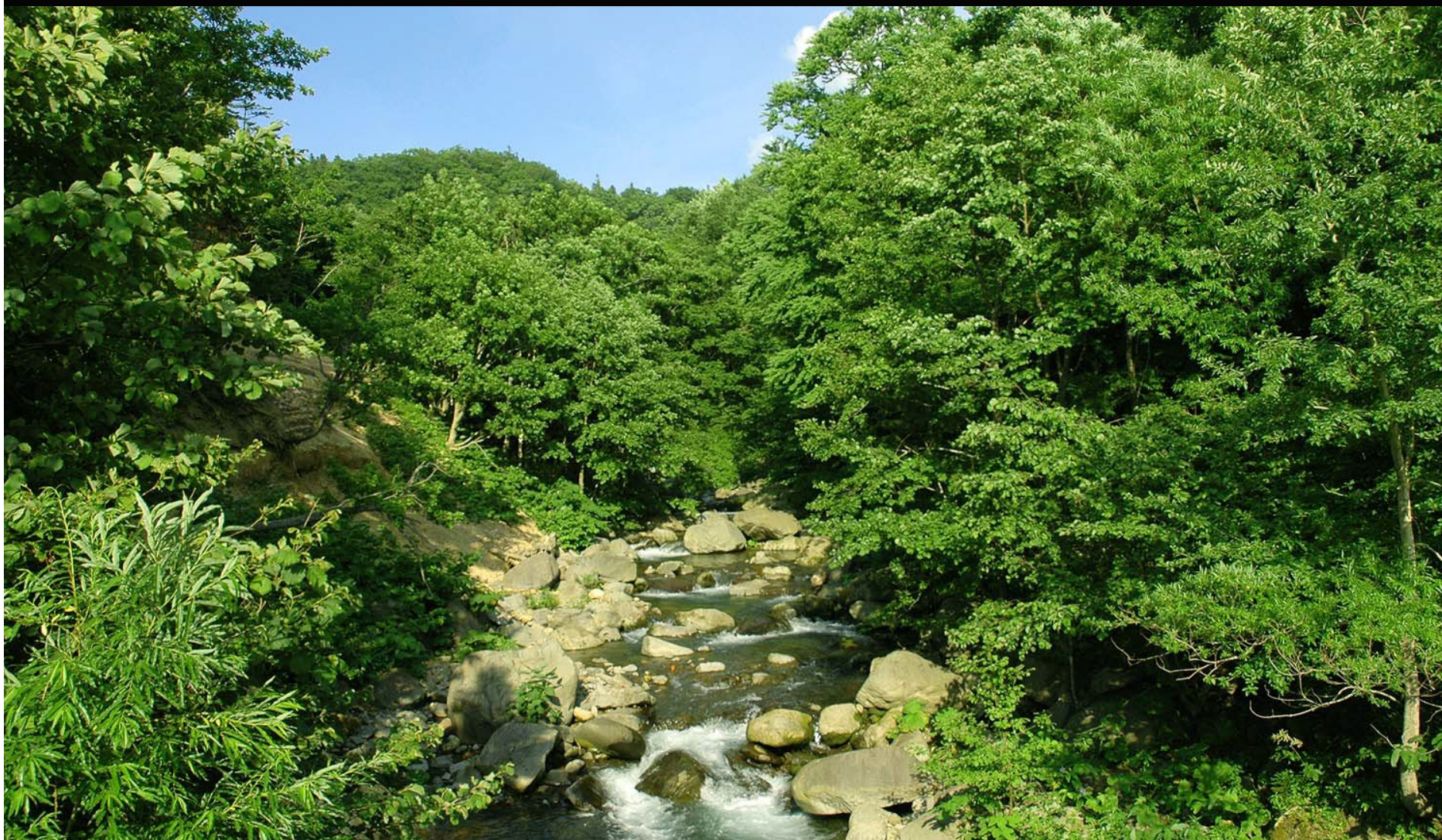
設立当初のウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンター

地方自治体のサンクチュアリ

- ウトナイ湖を福島市が視察
 - 福島市小鳥の森(自治体の第1号)
 - 加賀市鴨池観察館
 - 環境省が自然観察の森モデル事業
 - 横浜、姫路、油山、豊田に関わる。
- それぞれ自然観察の森条例を作り、担保措置

野鳥保護区

- 希少種の生息上重要だが、法的担保がない場所を、土地を所有することにより、種の保全に寄与（タンチョウ、シマフクロウ、シマアオジ等6種3300ha）
- 企業の社有林や個人の土地の一部を保全協定を結んで保全（約240ha）
- 生息地の一部を野鳥保護区としたことがきっかけで周辺も含めてラムサール条約湿地や自然公園に編入の例もあり。



持田野鳥保護区シマフクロウ知床

所在地：北海道知床地域 設置：2008年 面積：15.1ha

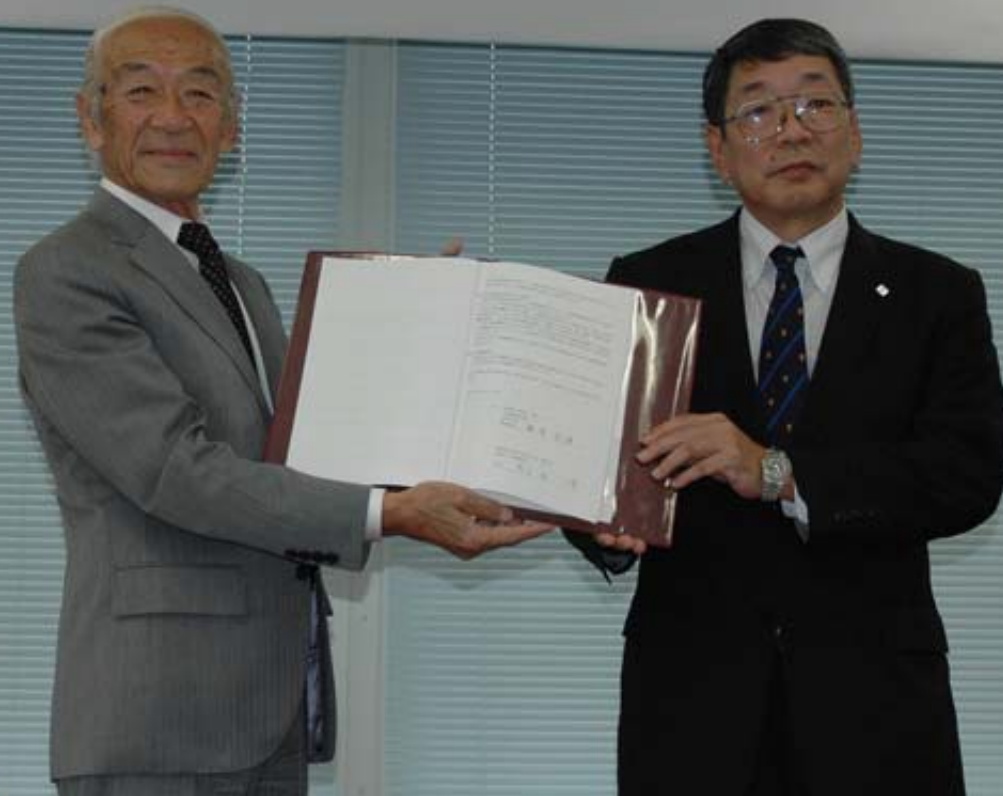


渡邊野鳥保護区フレシマ

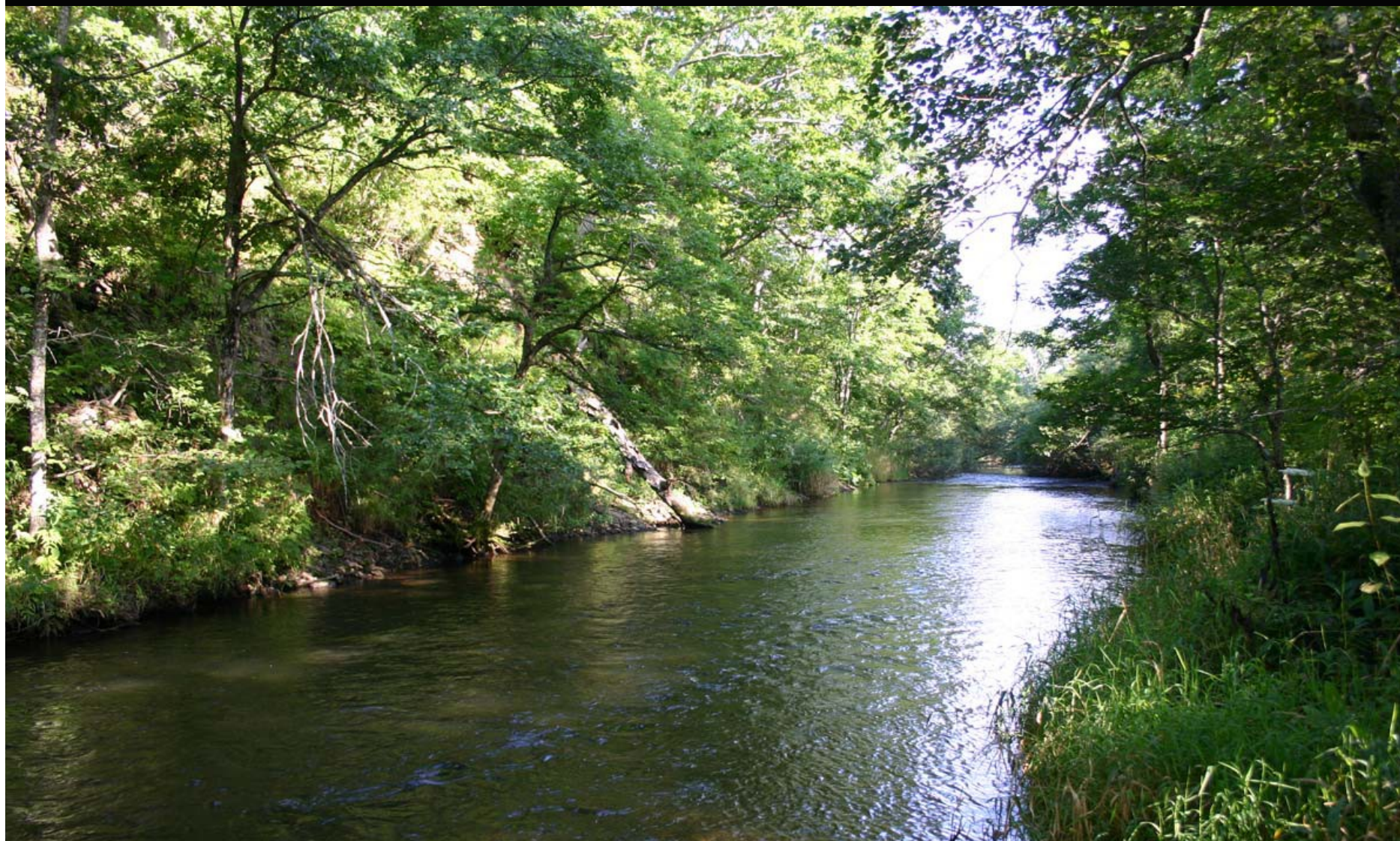
所在地：北海道根室市 設置：2004年 面積：203.7ha

野鳥保護区協定調印式

(財)日本野鳥の会 日本製紙株式会社



2010年10月14日に協定を締結

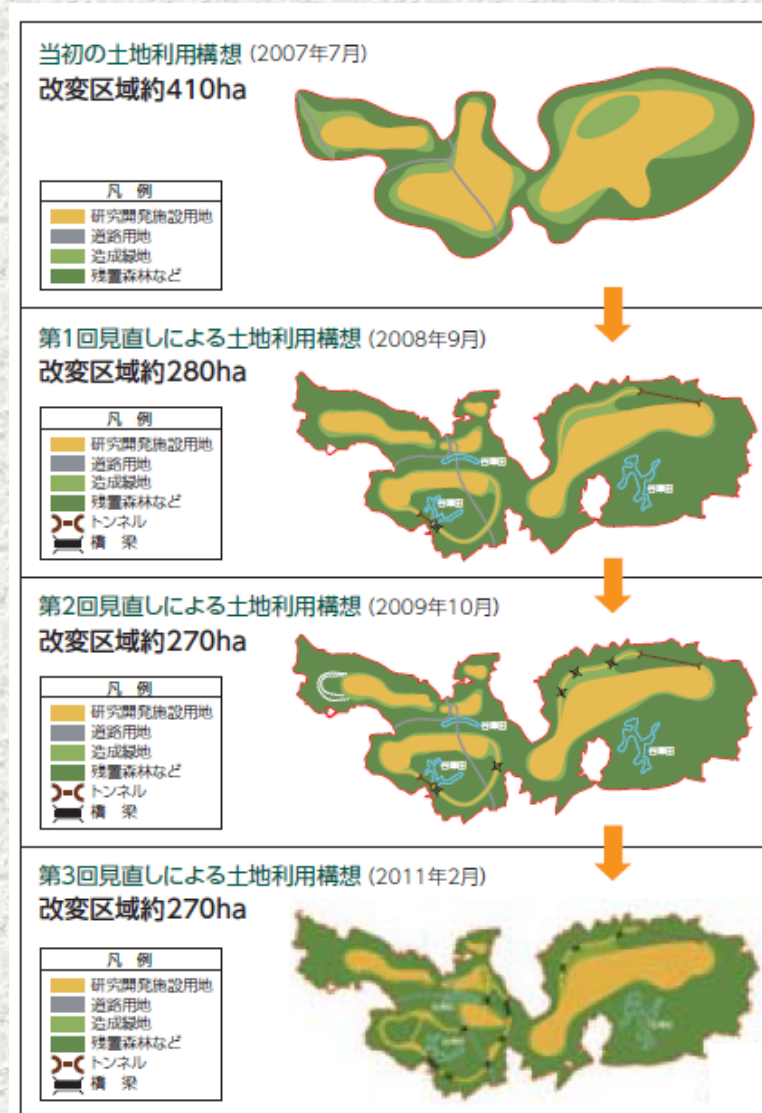
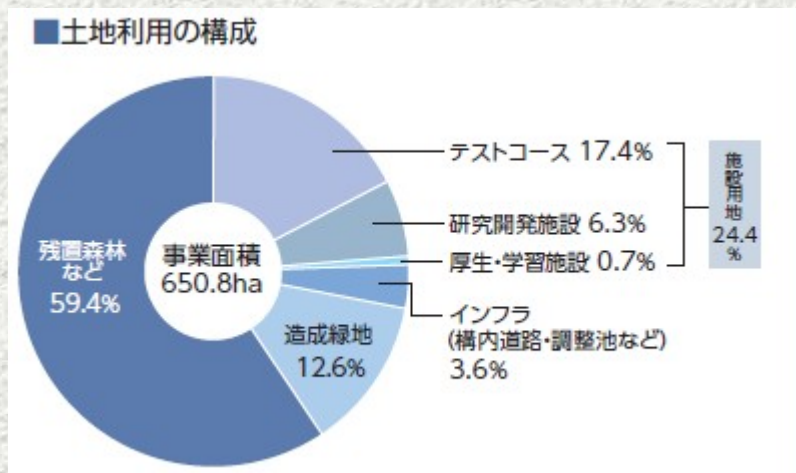


ミティゲーションの例

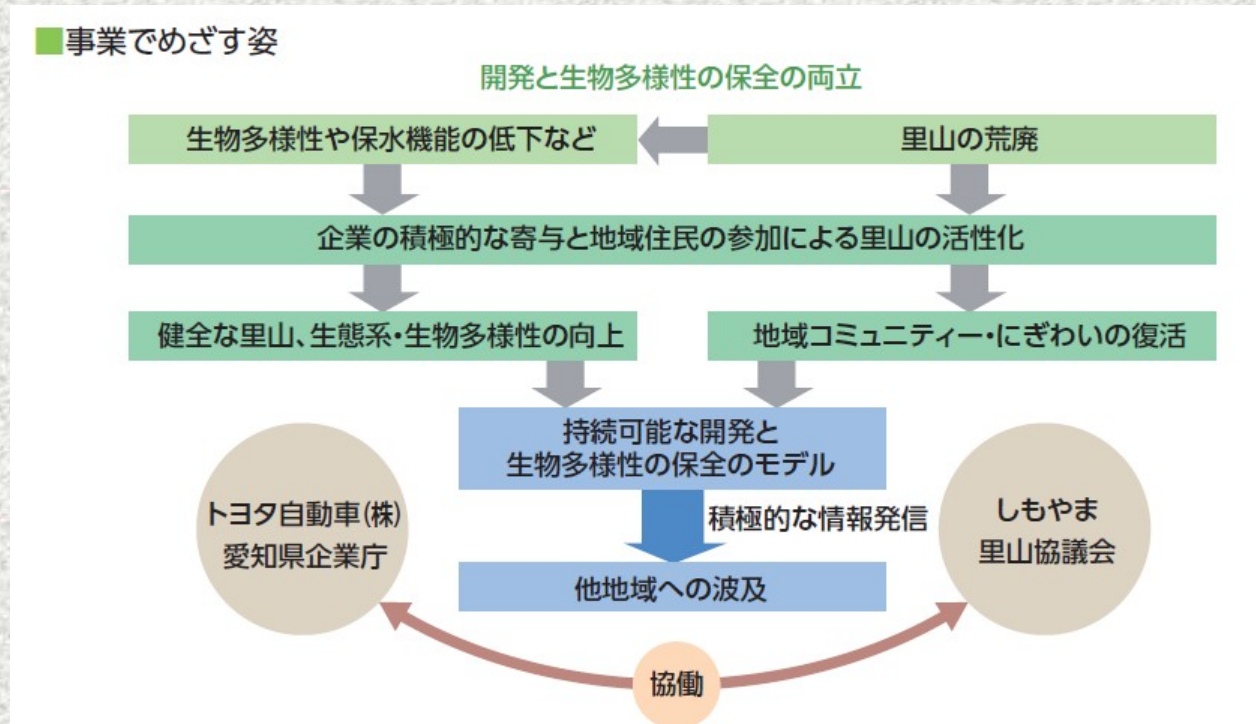
その他の事例(トヨタテクニカルセンター建設)

経緯

- 2007年 新規テストコースの計画で環境影響調査
- 野鳥の会を始めとする自然保護団体が見直し要請
- 2008～13年 土地利用構想の見直し(改変面積410haから270ha)



ミティゲーションの例



- 当会は環境監視委員会のメンバーとして参画
- 地域協議会等による二次林管理、放棄水田の修復、谷津田の維持等の実施

トヨタ自動車株式会社
「新研究開発施設の事業概要と環境保全の取組」第2版 2014年9月より